

報道関係各位

universal sound design®

2016年8月23日

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

卓上型対話支援システム「comuoon®」の薬局窓口での有用性を確認

《第26回九州農村医学会 沖縄》において鹿児島厚生連病院様と共同発表

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社(本社:東京都港区 代表取締役: 中石 真一路、以下『ユニバーサル・サウンドデザイン』)は、当社が開発・販売している卓上型対話支援システム「comuoon®(コミュニオン)」の利用に関する新たな有用性について、《第26回九州農村医学会 沖縄》において鹿児島厚生連病院 前之原 茂穂院長と共同で発表いたしました。

【発表のサマリー】

2016年4月より施行された障害者差別解消法に伴い、鹿児島厚生連病院では聞こえにくい方々への配慮として、卓上型対話支援システム「comuoon®」を導入しました。導入にあたり『患者とのコミュニケーションにおける聴こえ』に関する院内での実態が不明であること、職員の難聴の理解が不十分であることから段階的に導入を行うこととしました。

このたび鹿児島厚生連病院と共同で実施した研究は、外来時の患者とのコミュニケーションにおける有用性について、一般的に馴染みにくい薬品名を多く扱い且つ十分な説明が必要な場である院内薬局窓口において、comuoon®の電源ON/OFF時の聴こえの変化を職員と患者を対象に実施したものです。その結果、約半数の患者がcomuoon®導入後、聴こえが改善したと回答しました。さらに9割以上の患者が、「他人の薬局窓口における会話は聴こえなかった」と回答しプライバシー保護の観点でも有用であることが明らかになりました。現在、鹿児島厚生連病院では3台のcomuoon®を導入しており、1台を薬局窓口、2台を外来・病棟に配置しています。診察時以外に手術麻酔導入時、回診・検温・ケア時、理学療法中など多岐にわたり活用しています。

今後もユニバーサル・サウンドデザインは、聴こえのバリアフリー社会の実現に向けて、あらゆるシーンでコミュニケーションを支援してまいります。

◆『第26回 九州農村医学会 沖縄』開催概要

会 期 : 2016年7月2日(土)

会 場 : 沖縄県男女共同参画センター「ているる」沖縄県那覇市

◆研究発表概要

演 題 名 : 難聴者向け対話用スピーカーシステム「comuoon®」導入とその後の課題

発 表 者 : 鹿児島厚生連病院 福崎伊豆美 佐多照正 前之原茂穂

ユニバーサル・サウンドデザイン(株) 中石真一路

発 表 日 : 2016年7月2日(土)

結 果 : 患者86名のうち聴こえが「改善した」と回答したのは42名(48.8%)、「変わらない」が42名(48.8%)、「悪化した」は2名(2.3%)。また86名のうち35名は後方で待機している状況だったが、うち33名(94.3%)は、前で説明を受ける話し声が「聴こえなかった」と回答。



◆「comuoon®」について

「comuoon®」は、聴こえが気になる方に対して、話者側から歩み寄るといふコミュニケーション支援の新しい形を実現した、卓上型会話支援システムです。補聴器のように従来の”聴き手”側のみの問題に焦点を当てるのではなく、”話し手”の声を聞きやすい音質に変換しコミュニケーションを支援します。「話者側からのアプローチ」というアイデアと利便性、使い勝手の良さが評価され「2014年度 グッドデザイン賞ベスト100」を受賞しました。

「comuoon®」の活用による「聴こえのユニバーサルデザイン」は、医療機関や療育機関、金融機関を中心に2,600箇所以上の施設で導入しています。(2016年7月時点)。



《会社概要》

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

- ・ 設 立 : 2012年4月
- ・ 資 本 金 : 111百万円
- ・ 代 表 者 : 代表取締役 中石真一路(なかいし しんいちろう)
- ・ 所 在 地 : 東京都港区海岸 1-9-11 マリンクス・タワー2F
- ・ 事 業 内 容 : ・聴こえ支援機器の設計・開発・販売
 - ・各種店舗、建築物および室内空間のサウンドデザイン企画、制作コンサルタント業
 - ・スマートフォンアプリケーションの設計・デザイン・開発
 - ・スピーカーおよびアンプなどの音響機器の設計・製造・販売
 - ・PAおよびSR用音響機器の改修および修理